

記 者 会 見
2 . 2 . 2 1
資 料 3

秦野水道 130 周年について

秦野水道は、明治23年3月15日に竣工・給水を開始した「曾屋水道」に始まり、横浜・函館に次いで全国で3番目、簡易陶管水道・自営水道としては日本初の水道でした。この曾屋水道は、平成29年10月13日に国の「登録記念物（遺跡関係）」に登録され、本年3月15日で130周年を迎えます。

1 秦野水道 130 周年の主な取組み

(1) 旧曾屋配水場（曾屋公園）の呼称の変更

曾屋水道の発祥の地であり、大正期及び昭和期の水道施設が現存する「旧曾屋配水場」の呼称を「曾屋公園」から「曾屋水道記念公園」に変更し、公園の入口門柱に看板を設置します（令和2年3月設置予定）。

(2) ボトルドウォーター「おいしい秦野の水・丹沢の雫」の記念ラベルによる製造・販売

東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程（池村明生教授）のゼミ学生である中込彩希さん（3年生）により記念ラベルデザインを作成し、「おいしい秦野の水・丹沢の雫」を製造・販売します。

製造本数は約10万本、販売期間は7月から令和3年3月まで（在庫が無くなり次第終了）の予定です。



(3) 曾屋水道記念公園内に手押しポンプの設置

公園内の地下には大正期及び昭和期の配水池が1基ずつ存在しており、

現在も湧水が流入しています。そこで、来園者に配水池の機能が現存していることを「水」を見せることでPRするとともに、災害時の生活用水としても活用できるよう、手押しポンプを設置します（令和2年度設置予定）。

2 曾屋水道公園会（地域住民等による団体）

曾屋水道が国登録記念物（遺跡関係）に登録されたことを受け、曾屋公園のPRや公園内の清掃、曾屋水道の歴史の伝承等を目的として、令和元年6月に地域住民が主体となった曾屋水道公園会（代表：杉山和史（有限会社かまか商店代表取締役））の活動が始まりました。

今後、曾屋水道公園会では、曾屋水道の歴史の伝承や郷土愛の醸成につながるイベントの開催等を計画しており、随時、会に賛同していただける方を募集しています。

問い合わせ

経営総務課総務担当 電話0463（81）4113